資料1－2　基本構想（案）の前回からの主な変更点　※前回（令和8年9月）→ 今回（令和8年11月）

国の「地域未来戦略」の動向やこれまでの審議会でのご意見などを踏まえ庁内で再検討し、重点施策を加えるなど、大きく見直しを行いました。詳細につきましては、当日ご説明差し上げます。

項　目	区　分	ページ	主な変更点
全体の章立て	変更	－	・第1章（人口の将来展望）と第2章（町の目指す姿）を入れ替え、第3章（まちづくりの方向性）に基本方針と重点施策を新設
第1章　町の目指す姿			
将来像を定めるにあたって	新設	P.2	・将来像を定めるにあたっての前提等を追加
築上町の将来像	変更	P.3 前回P.4	・前回の3案を見直した将来像（案）を資料1－3でお示し
第2章　人口の将来展望			
目指す将来人口	大幅に変更	P.4 前回P.2	・令和7年国勢調査の確定値をもとに再推計し、このまま推移した場合の人口を 2035年時点で12,989人 → 11,917人（約△1,100人） ・上記に伴い目指す将来人口を 2035年時点で13,400人 → 12,300人（△1,100人）
目標の設定根拠	新設	P.5	・目標人口の算出根拠（転出超過を毎年5人ずつ改善する考え方）等を説明
地区別の将来人口と地域づくり	変更	P.6 前回P.3	・推計の年を2060年から2040年に変更し、数値も国勢調査の値をもとに再推計 ・地域づくりの支援（担い手確保、話し合いの場づくり等）を具体化
第3章　まちづくりの方向性			
まちづくりの全体像	新設	P.7	・将来像、基本方針、重点施策、基本目標の関係を1枚の図で説明
基本方針	新設	P.8 前回P.5	・5つの視点を以下に再構成 ・人口減少の「抑制」と「適応」の2方針 ・その土台として「地域への誇りと愛着」「住民と行政の対話と協働」
重点施策 3つの柱	新設	P.9～12	・目指す将来人口実現のための施策として以下の重点施策を設定 ①地域に新たな価値を生む産業を創り、育てる ②地域コミュニティを再編し、支え合いとつながりを育む ③住民の主体的な活動を支える行政体制づくり
6つの基本目標（全体）	大幅に変更	P.13～19 前回P.6～8	・しごと→きばん→あんしん→まち→くらし→まなびの順に変更 ・各目標を「目指す姿」と4つの取組の方向で整理し、一覧を追加
6つの基本目標（一覧）	新設	P.13	・6つの基本目標の一覧を追加
基本目標1 しごと 前回：基本目標4	変更	P.14 前回P.7	・地域内経済循環、地場産業や地域コミュニティビジネスの取組を追加 ・農林水産業の取組を整理し、地域おこし協力隊・有害鳥獣対策を追加 ・誰もが働ける環境づくりを追加
基本目標2 きばん 前回：基本目標6	変更	P.15 前回P.8	・地域で担える業務は委ねる、地域とともに担う公共サービスの取組を追加 ・職員が働き甲斐と地域への愛着を育み、挑戦できる組織風土づくりを追加
基本目標3 あんしん 前回：基本目標3	変更	P.16 前回P.7	・地域運営組織の形成、集落支援員など担い手の確保を追加 ・自衛隊関連を基地との共生として再整理し、自衛隊との交流・連携を追加 ・インフラの更新は「まち」へ移動
基本目標4 まち 前回：基本目標5	変更	P.17 前回P.8	・若い世帯の住まいの確保（空き家・公有地の活用）を追加 ・公共交通に、ライドシェアなど新たな移動手段を追加
基本目標5 くらし 前回：基本目標1	変更	P.18 前回P.6	・こども・若者の居場所づくりと見守りを追加 ・「子ども」の表記を「こども」に統一
基本目標6 まなび 前回：基本目標2	変更	P.19 前回P.6	・誇りと愛着を育み、個性を生かし活躍できる対話と活動の場づくりを追加 ・学校教育に、個別最適な学びと協働的な学び等を追加